

言葉で伝え合おう

令和6年6月1日
静岡市立南中学校
学校便り6月号

～「言葉」がつなぐ～

校長 橋口 渉

南中の今年度重点目標は「言葉で 伝え合おう」です。そこで「言葉」のもつ役割を考えてみました。自分と相手を「つなぐ」という役割もあると考えました。

「つなぐ」は、「一つ一つバラバラになっているものの“間に”入ってつながりをつくる」働きを意味します。よくよく考えると、人も一人一人、バラバラと言えます。子と親、友だち同士、生徒と教師、わたしとあなた等、確かにバラバラですが、あるものでつながります。あるものには、何が入るのでしょうか。いろいろな答えがありますが、「言葉」はその一つだと考えられます。

人は、自分の考えを「言葉」で伝え、相手の「言葉」を聴いて、共通の思いを持つことでつながります。互いの思いを理解、納得してつながります。だから、「言葉」はできるだけ温かく、できれば幸せになれるような「言葉」を使いたいし、聴くとしたら、一時でも前向きになれる「言葉」が聴きたいです。

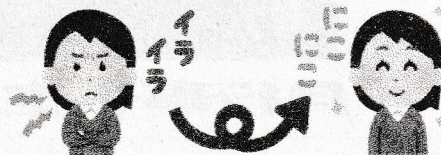
誰かに厳しい（きつい）言葉を言われたら、どうなるでしょう。

言われた言葉が頭の中をぐるぐると回りながら、ずっと尾を引いてしまうこともあるでしょう。誰もが、厳しい（きつい）言葉を受け流すことはなかなか難しいので、正面から受け止めて、深く傷つくことになるでしょう。

厳しい（きつい）言葉の奥には、多くの場合、相手の気持ちや要求等があるものです。受け止めた時に傷つかない言葉に変えてみたらどうでしょう。

- ①「どうしてそんなこともできないの？」→「できるようになってほしいの」
- ②「のろのろしないでよ」→「少しペースを速めてもらえると、助かるわ」
- ③「こっちに来ないで」→「今は一人でいたい」
- ④「話がつまらないね」→「楽しい話が聴きたいな」
- ⑤「センスないね」→「もっとステキにできるよ」

もし、厳しい（きつい）言葉を使ってしまったら…。



ちょっと自分の思いが強すぎて、自分の基準から外れている人をつい攻めてしまったり、悪気はなくてもストレートな物言いになってしまったり、いろいろな理由はあると思います。しかし、確実に相手を傷つけ、人間関係がギクシャクするはず。予想以上の反発もあるかもしれません。また、発した言葉は元に戻せません。

自分も相手も理解し、納得し、できれば互いにより影響が生まれるような「言葉」でつながっていきたいです。さらには、「言葉」を選んで使うくらいの余裕が欲しいものです。私も常に意識していきたいです。

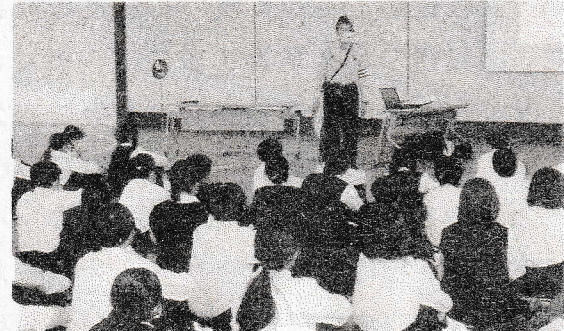
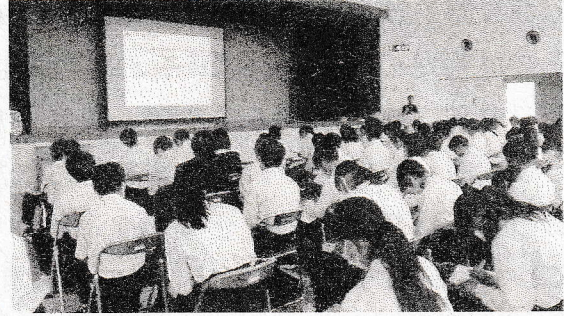
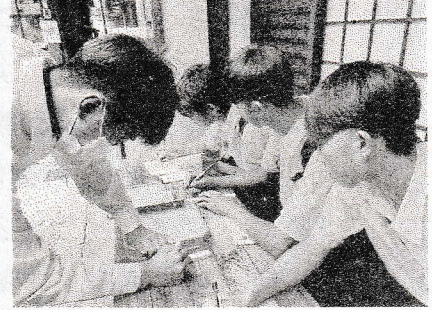
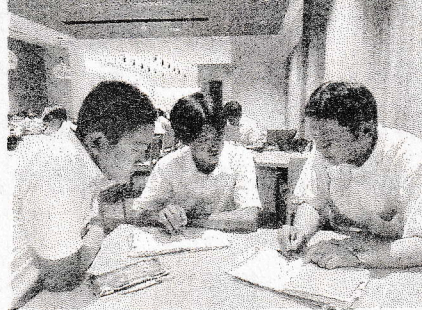
皆さんの「言葉」で、相手とつながることが出来ますか。

貴重な体験をしました

3年生の修学旅行は成功も失敗もすべてを糧として、より良い学校生活の実現につなげることを思い、すべての日程を終えました。

2年生は静岡大学とコラボレーションして企業説明会に参加しました。「将来を考える上で視野が広がった」と感想を述べた生徒がいました。

1年生は防災教育の一環で地域の施設などを見学したり、交通指導教室を行ったりしました。



6月行事予定

3日(月)	教育実習開始(～21日)	17日(月)	金曜日課 尿検査(二次)
4日(火)	下校指導		生徒協議会 選挙運動(～21日)
5日(水)	定期テストI(1) 午後カット	19日(水)	救急救命講習(2年)
6日(木)	定期テストI(2) 午後カット 臨時選挙管理委員会	20日(木)	e-netキャラバン(全学年) 臨時選挙管理委員会(投票準備)
10日(月)	色決め集会 専門委員会	21日(金)	月曜日課
11日(火)	学級訪問演説(～19日)	24日(月)	生徒会選挙 立会演説会・投票
12日(水)	集金日 薬学講座(2年)	26日(水)	薬学講座(3年)
13日(木)	耳鼻科健診 (2年+1・3年・7組対象者)	27日(木)	防災に関する講義(1年) HAG(3年)